

広域観光・文化振興局の取組

■「関西観光・文化振興計画」による施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。この計画は、概ね 10 年間を見据え、当面の事業推進計画は平成 24 年度からの 3 年間とし、関西広域連合として府県や住民など幅広い主体のまとめ役を担いながら、関西が一体となって戦略的に取り組む方向を示しています。

計画に掲げた将来目標等

- ・日本の現状 来日外国人客数は世界第 30 位前後。魅力の発信と活用が不十分
- ・将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都」にする
- ・数値目標 関西への訪問外国人客数について、年間約 1,000 万人を目指す

<5つの戦略>

1. 「KANSAI」を世界に売り込む

広域観光ルートの提案、「KANSAI 国際観光YEAR」の展開 など

2. 新しいインバウンド市場への対応

ニューツーリズムの魅力強化、MICEの取組強化 など

3. マーケティング手法による誘客

ビジネスネットワーク構築、KANSAI WEB戦略 など

4. 文化振興等との連携

文化芸術活動等の交流と関西文化の魅力発信、関西文化に親しむ機会の拡充 など

5. 安心して楽しめるインフラ整備の充実

関西国際空港の魅力向上、おもてなし・利便性の向上 など

○平成 25 年度予算

戦略の具体化を図るため、広域観光・文化振興分野として、当初予算で 3,183 万 1 千円を計上、さらに先の 8 月補正予算において 600 万円の追加計上を行いました。

平成 25 年度分野予算（8月補正予算後）

- ・KANSAI ブランドの構築 (34,036千円) KANSAI 国際観光YEARの実施
海外プロモーションの実施
関西文化の魅力発信事業 など
- ・基盤整備の推進(3,385千円) 関西全域の観光統計調査、通訳案内士 など

■取組状況

OKANSAIブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)の知名度はまだまだ低い現状にありますが、外国人観光客誘客に向けて、将来的にはブランドとしての優位性を確保する必要があります。このため、個々のイメージではなく、関西を一つのブランドとして積極的に海外に向けて発信する取り組みを展開しています。

(1)「KANSAI国際観光YEAR2013」

2013年を「KANSAI国際観光YEAR」と位置づけ、世界に誇る「関西の食文化」をテーマに関西が一体となって実行委員会を設立し、強力なPR活動を行うこととしました。昨年12月に関西国際空港でスタートアップイベントを実施し、以後、公共交通機関の協力を得たPR活動を展開、今年のゴールデンウィークには「'13食博覧会・大阪」に出展し、関西各地の食を幅広く提供し、関西の食文化をアピールしました。また、併せて関西の経済界等が領事館フォーラムやプレスツアーを実施し、世界へもアピールしました。



キックオフイベント（平成24年12月27日）



食博における連合ブース
(平成25年4月26日～5月6日)

(2)海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと広域連合長等によるトップセールスをこれまで6回に渡り実施し、歴史や文化、自然景観など関西の持つ多様な魅力を紹介し、KANSAIブランドを発信しています。

・香港等プロモーション

今年度は、9月13日(金)から16日(月)にかけて、関西経済界等との連携のもと井戸連合長を団長に総勢50名の訪問団が、香港及び広州市においてプロモーションを展開しました。

中国本土へのゲートウェイであり、東南アジアにも大きな影響力を持つ香港においては、現地大型商業施設で関西観光展・物産展を開催し、関西への観光誘客と特産物の販売を促進するとともに、現地メディアを対象とした交流レセプションや香港政府等と情報交換会を開催しました。また、中国3大都市の一つ広州市において、広東省政府への要人訪問や現地旅行社等を対象とした交流レセプションを実施しました。



香港での観光展・物産展オープニングセレモニー



広州市での交流レセプション

(プロモーション実績)

年度	訪問先	日程	参加者	行催事
23	中国(北京市、上海市)	7月20日～23日	連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか総勢57名	20日:表敬訪問、フォーラム等(北京市) 21日:表敬訪問(北京市) 22日:表敬訪問、観光セミナー等(上海市)
23	韓国(ソウル市)	9月18日～20日	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか総勢20名	19日:表敬訪問、観光セミナー(ソウル市) 20日:表敬訪問(ソウル市)
24	韓国(ソウル市)	8月1日	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	1日:表敬訪問、観光セミナー(ソウル市)
24	中国(北京市、杭州市、上海市)	9月11日～13日	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	11日:観光セミナー(北京市) 12日:レセプション(杭州市) 13日:観光セミナー等(上海市)
24	シンガポール、マレーシア	25年2月17日～19日	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	17日:レセプション(シンガポール) 18日:意見交換会、旅行社訪問(シンガポール) 19日:表敬訪問、旅行社訪問(マレーシア)
25	中国(香港、広州市)	9月13日～16日	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	14日:関西観光展、物産展オープニングイベント、レセプション等(香港) 15日:情報交換会、視察等(香港、広州市) 16日:表敬訪問(広州市)

(3) 名誉観光大使「KANSAI 観光大使」の任命

関西と海外との架け橋として活動され、関西へのインバウンドに尽力いただいている方々を、さらなる活躍を期待して「KANSAI 観光大使」に任命し、海外におけるネットワークの強化を図っています。昨年度の7名の方々に加え、今年度も香港プロモーションで、4組5名の方々を新たに任命し、「KANSAI 国際観光YEAR」の情報など関西の情報発信を行っていただくこととしています。

香港 袁文英(旅行会社社長)
陳俊偉(ライター)
R I E (TVタレント)
MukoAngie(お笑いコンビ)



(平成 24 年度任命)

韓国 イ・ヨンスク(李容淑)氏
キム・ギョンウ氏
ムン・チョルジン氏

中国 テイ・ホルイ(鄭保壘)氏
サイ・マンテツ(崔万哲)氏
シュウ・カシュ(周華殊)氏
谷口弘記氏

(4) 山陰海岸ジオパーク活動の推進

これまでもプロモーションにおいて多様な関西の観光資源を紹介する中で、広域観光連携のモデル的な取り組みである山陰海岸ジオパークに関するトップセールスを実施しています。

今年は、特に山陰海岸国立公園の指定50周年を記念して、山陰海岸の優れた自然景観やその魅力を広くアピールし次の世代に継承するため、3府県・環境省ほか関係機関が連携・協調して、記念フェスティバルや3府県こどもジオパークサミットなど様々なイベントを実施しました。



50周年記念フェスティバル

(平成 25 年 8 月 24 日)



3府県こどもジオパークサミット

(平成 25 年 9 月 7 日)

○文化振興の取り組み

(1) 関西「文化の道」事業／人形浄瑠璃のパンフレット制作

関西で発祥し全国に広がった関西共通の文化である「人形浄瑠璃」について、関西の府県域を越えた魅力あふれる文化資源の掘り起こしを行うとともに、観光客誘致を促すPR活動にも活用するため、文化庁補助金を活用して日本語、外国語(英語、中国語(簡体字、繁体字)韓国語)のパンフレットを制作し、国内外に発信しています。

(2) 「関西文化の日」の取り組み

2府8県の文化施設等の協力を得て、11月の特定日の常設展等を無料とする「関西文化の日」について、関西広域連合と関西元気文化圏推進協議会の共催で、今年度は11月16日(土)、17日(日)を中心に、過去最高となる約500施設の参加のもと、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供します。



(3) 「関西元気文化圏推進フォーラム」の開催

伝統芸術と新しい文化芸術が共存している関西において、固定観念にとらわれない、新しい視点からの文化芸術の見方について考えようと、「文化芸術の再発見」をテーマに、関西元気文化圏推進協議会との共催で、6月22日(土)、大津市伝統芸能会館において、第1回目となるフォーラムを開催しました。

(4) 「関西広域連合文化振興指針」の策定

文化振興の取組を強化し、関西文化の魅力を内外に発信するため、有識者会議を3回開催し、その御意見や各構成府県市等の御意見を踏まえ、「文化首都・関西」の実現と併せ、観光の標榜する「アジアの文化観光首都」としての発展を目指すという理念のもと、関西における豊かな文化創造を育む基盤づくりが最も必要であるとの視点に立ち、文化振興指針を策定しました。

○その他の取り組み

(1) 基盤整備の推進

・人材の育成（通訳案内士）

各府県ごとに行っていた通訳案内士(全国)の登録事務を、平成24年4月1日から広域連合で一元的に管理し事務の効率化を図りました。これにより、住所地にかかわらず圏域内府県庁での登録手続きが可能になったほか、通訳案内士情報のホームページへの掲載が広域・一元化し、広域観光に対応できる人材ニーズとのマッチングや、関西を訪れる外国人観光旅客の利便性向上への寄与が期待されます。今後、関西の自然や歴史、文化に通じた人材の育成を図っていきます。

・関西全域を対象とする観光統計調査

関西としての効果的な誘客の取り組みを進めるため、観光庁の「訪日外国人の消費動向年次報告書」データを二次利用し、構成府県内を訪れた外国人旅行客の消費動向などの傾向を整理・分析しました。引き続きデータを蓄積しニーズの把握に努めつつ、観光満足度や再訪意向への影響度を踏まえた情報発信の方法等、さらなる誘客促進につながる方策について検討していきます。